

## アフリカへ米送ろう

支援へ園児が田植え



**滑川**  
食料難のアフリカ・マリ共和国に米を送ろうと、滑川市柳原のやなぎはら保

田植えに挑戦する園児ら  
育園児が30日、同市坪川の農業、藤井宗一さん(64)方の田んぼで田植えに取り組んだ。  
アジア・アフリカ支援米運動に取り組む「食とみどり」

り・水を守る富山県民会議(中松清孝議長)が、2002年から藤井さんの協力を得て実施。年長児10人が参加した。園児たちは藤井さんや坪川福寿会員に作業のことを教わりながら、わせ品種「てんたかく」

の苗植えに挑戦。ぬかるむ泥にはだして飛び込み、歓声を上げていた。  
収穫量は約210キの見込み。8月下旬に稲刈りをし、N G O マザーランド・アカデミー(東京)を通して全量を現地へ送る。

### 今こそ憲法を考える 県内で催し

香山リカさん  
「向き合おう」



日本国憲法をまもる富山の会と県平和運動センターの「とめよう改憲 県民集会」は3日、富山市の富山国際会議場で開かれ、約500人が精神科医・立教大教授の香山リカさんの講演「写真」に耳を傾けた。  
香山さんは「憲法・格差・愛国心」などとなく考えているあなたへ」と題して講演。香山さんは、人は不安な心理状態になると、不安から目を背ける傾向があると指摘し、「憲法を改正すれば問題は解決するの、しっかりと向き合う必要がある」と述べた。  
講演に先立ち、日本国憲法をまもる富山の会の青島明生代表があいさつし、改憲の動きを批判した。

5月10日(金)  
又市総合資料  
PT6=30  
自治労会館大ホール

## 護憲・反戦平和へ 3地区で街宣活動

憲法擁護県民連合(又市征治、佐幸明代表委員)と県平和運動センター(山崎彰議長)は富山市の総曲輪フェリオ前

で街頭活動を行い、護憲や反戦平和を訴えた。又市参院議員らが演説し、安倍首相が改憲の発議要件緩和に向けて96条の改正に意欲を見せていることについて「危険な動きだ」と警戒感を示した。

この日は「2013年憲法キャラバン」と銘打ち、高岡、中新川、新川、砺波の3地区でも街宣活動した。



改正の阻止へ 県内キャラバン  
擁護県民連合など  
憲法擁護県民連合と県平和運動センターは3日、憲法記念日に合わせて県内全域で憲法キャラバンを展開し、街頭演説やチラシ配布などを通じて憲法改正の阻止を訴えた。  
富山市の総曲輪フェリオ前で行われた街宣

には、同連合代表委員の又市征治社長幹事長らが参加。又市氏は、憲法の理念によって戦後日本の平和が守られたとし、「憲法を変えて日本を戦争ができて国にしてはならない」と呼び掛けた。写真。